

スポーツツーリズムの取組の現状報告 (H29の取組についての進捗・最近の取組についての共有事項)

H29年度取組

- ホテルやアウトレットモール等と合わせた複合的な大規模施設として国内10カ所でスノーリゾートを展開。
- 小学生以下のリフト料金を全スキー場で無料化する等の施策で、5年間でこどもの来場人員が187%と伸長。
- 夏のスキー場への集客施策として、日本最大級の「サマーゲレンデ」を造成。2017年は対前年比約150%の動員増。
- 嬬恋ヒルクライム、GREAT EARTH (雫石・函館) 等、各地で国際大会を地域と連携して実施している。
- インバウンド獲得に向けた取組として、顧客の認知と利用フェーズごとの情報拡散を行っている。

現状

- 小学生以下のリフト料金無料施策を継続実施。前年の数字は下回ったものの、こども来場人員は実施前と比較して178%。
- かぐらサマーゲレンデは、海外スキー競技団体の合宿を受注するなど、新たなマーケットを開拓。前年比約109%で推移 (8月)
- 嬬恋ヒルクライム (1,002名)、GREAT EARTH 雫石 (394名) を実施。GREAT EARTH函館を9/30に実施予定
- インバウンドはアジア・豪州を中心に強化。本年より中国ウインタースポーツエキスポへ初出展。
インバウンド 予約状況好調。
(AUS前年同期比 160%)

※1ページに収まらない場合は本ページにも記載ください。

◆参加企業様への提案

